

1. 研究の概要

研究主題

「自ら学び、考え、行動できる
人間性豊かな児童生徒の育成」

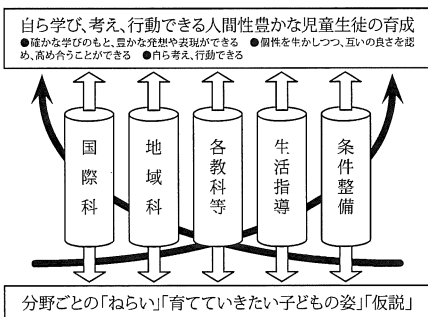
〈平成26年度～平成28年度
の3カ年計画の2年次〉

◆ 一貫教育で育てていきたい子どもの姿
◆ 確かな学びのもと、豊かな発想や表現
ができる

◆ 個性を生かしつつ、互いの良さを認め、
高め合うことができる

◆ 自ら考え、行動できる

研究主題設定の理由



2. 本年度の研究について

3年次計画の方向性と本年度の部会別研究課題

【国際科部会】

岡山・菅野小中一貫教育の柱として、開始より研究が行われてきた。これまでの様々な取り組みにより、児童生徒の意欲・関心が高く、中学校英語科にスムーズに移行されていると考える。

昨年度の成果・課題をもとに、平成27年度の研究の方向性を以下のように計画した。また、小学校英語の教科化の動きに注視し、必要があれば合同部会や合同研修会で情報の共有と議論を進めていく。

（本年度の部会研究課題）

- ・カリキュラムに位置づけられた「小1・2の合同授業」の実践交流、反省と改善
- ・「小3・中2の合同授業」の実施
- ・「小6・中3の合同授業」の検討
- ・文学指導の効果的な指導法について

【地域科部会】

岡山・菅野小中一貫教育開始時より「新教科」として研究が行われてきた。しかし、昨年度「総合的な学習の時間」として位置づけていくことが明確となり、今後2年間でカリキュラムの見直しをしていくこととなった。三笠市のジオパーク認定、中学校地域科指導内容の変更、小学校5・

6年地域科指導時数増にともない、課題は大きい。第4期3カ年研究の中で整理・改編・充実を目指していく。

（本年度の部会研究課題）

◆ 総合的な学習の時間としての地域科カリキュラムの検討・実践

◆ 中3における新カリキュラムの実践・交流

◆ ジオパークと副読本の活用について

【教科部会】

これまで「従来教科（国語・算数・数学・理科・社会・音楽・図工・美術・体育・技術家庭）」として研究にかけてきた時間の違いはあるものの、小中の系統性を持った指導の研究が行われてきた。また、平成24年度から「合同・交換」授業の研究が始まり、多くのメリットがあることについて確認されている。

（本年度の部会研究課題）

- ・理科における交換授業の実践検証
- ・交換授業未実施教科（社会）の実践検証
- ・体育科「個人カルテ」の実践検証
- ・「自主的・主体的な活動の力」を支えるの

今後、児童・教員それぞれのメリットを意識しながら、教育課程に位置づけられた合同・交換授業の実践を今後も継続していくとともに、未実施教科の実施検討、中小教員のT・Tの役割等について研究を進めていく。

【生活進路部会】

（本年度の部会研究課題）

- ・理科における交換授業の実践検証
- ・交換授業未実施教科（社会）の実践検証
- ・体育科「個人カルテ」の実践検証
- ・「自主的・主体的な活動の力」を支えるの

小中相互参観

小中の教員ができるだけ多くの児童生徒の名前を覚え、「児童生徒の実態・姿容把握」を進めていけるよう、各学期1回、部会研究授業とは別に小中相互参観日を設置する。

- （1学期）実施済
- 菅野中……6月17日～19日
- 岡山小……6月24日～26日
- （2学期）実施済
- 菅野中……10月28日～30日
- 岡山小……11月25日～27日
- （3学期）※仮日程
- 菅野中……2月2日・4日・5日
- 岡山小……2月8日・9日・12日

小学校は、1学期（低学年）・2学期（高学年）・3学期（中学年）の公開日を設定する。中学校教員が空き時間に来やすいよう、公開日は各学期3日間（午前中フリー）とする。

・中学校は、各学期3日間（2校時のみの設定とし、全学年を公開する）。

3. 公開研究会について

- 【名称】平成27年度 三笠市教育研究振興会研究指定校 公開研究会
- 【日時】11月12日（木）
- 【会場】三笠市立岡山小学校

は学習習慣や生活習慣である。」という考えから、平成25・26年度にかけて「家庭学習」についての研究を進めてきた。児童生徒・保護者・教師用の9年間を見通した「家庭学習のすすめ」を作成し、3者を進めていくことにより、家庭学習は定着しつつある。

今年度からは研究主題「育てていきたい子ども」像を目指した「児童会・生徒会活動の創造」を研究の柱としていく。小中一貫教育の目標である「自立性・社会性をもった児童生徒の育成」に着目し、「自主的・主体的な活動の力」をつけるために、児童生徒が一体となった児童会・生徒会活動の創造を目指していく。

（本年度の部会研究課題）

- ・児童会・生徒会活動の検討
- 新しい小中合同行事や、児童会・生徒会主催行事の検討
- ・小中各校での現行行事の見直しと、より主体的に活動させるための工夫改善
- ・「振り返りカード」の具体的な活用
- ・「進路指導」の実践検証
- ・性の学習「授業実践
- ・「家庭学習のすすめ」の実践

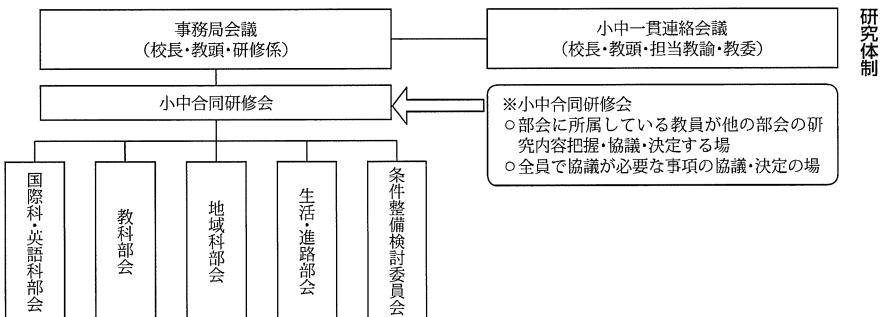
【条件整備検討委員会】

「条件整備」は岡山小・菅野中だけで解決できる課題もあれば、行政の力を借りなければ解決できない課題もある。平成22年度に教育委員会から提示された「三笠市小中一貫教育推進協議会資料」さらなるステップアップに向けて出されている課題を整理し、実施に向けて検討するものと、現実的に実施不可能なものに仕分けていく。

笠市小中一貫教育推進協議会資料さらなるステップアップに向けて出されている課題を整理し、実施に向けて検討するものと、現実的に実施不可能なものに仕分けていく。

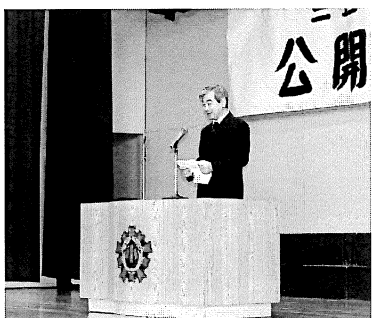
（本年度の部会研究課題）

- ・PTA組織の具体的活動、両校行事へのPTA協力体制の検討
- ・小6による長期休業中の部活動体験入部の改善・継続
- ・小学校スポーツ活動への中学校教員の参加指導の継続
- ・読書指導の連携についての検討
- ・小学校Ⅲ期（6年）教科担任制についての検討
- ・その他、条件整備に関わる検討



研究体制

※小中合同研修会
○部会に所属している教員が他の部会の研究内容把握・協議・決定する場合
○全員で協議が必要な事項の協議・決定の場合



【目的】平成17年度にスタートした岡山・菅野小中一貫教育は、昨年度までに10年が経過した。この間「国際科」「地域科」をはじめ、各教科における9年間を見通した教育課程の再編成・実践・検証「系統性ある生活指導」の確立などに取り組み、中学校へのスムーズな移行や豊かな心の育成などの面で、大きな成果が得られた。また「合同・交換」授業の実施によって、児童生徒だけでなく教員側にも多くのメリットがあることが確認された。

そこで、これまでの研究の成果をさらに積み上げ、残された課題を少しでも解決するために、平成26年度からの第4期3カ年計画においては、研究主題を継続する中で「育てていきたい子どもの姿」の具現化を目指しながら、これまで以上

研究所だより

教育三笠

第204号 発行/三笠市教育研究所

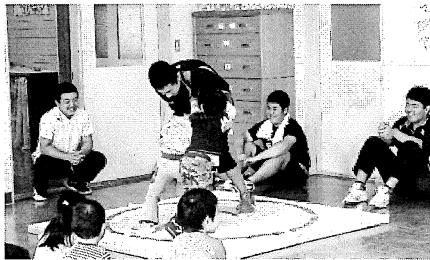
三笠中学校



1年総合 車椅子体験



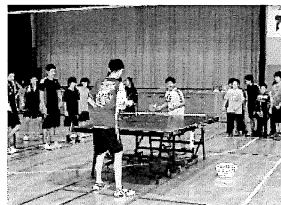
2年 ジオパーク



3年総合 保育所訪問



バスケットボール



卓球



美術

三笠小学校6年生と部活体験

に児童生徒の変容をねらった研究を進めていくこととなった。2年次日となる今年度は岡山小学校で、最終年次となる平成28年度は萱野中学校を中心校として研究指定校公開研究会を開催することを通して、岡山・萱野小中一貫教育で目指している研究内容を発信するとともに、参加者から客観的な指導批判を仰ぎ、さらなる研究の深化を目指していくことを、本公開研究会開催の目的とする。また、同時に、研究会実施を通して、私たち教職員の教育実践力向上が図られ、両校児童生徒に反映されることを期待する。

公開授業

○国際科(1・2年 合同授業)

【授業者】成澤美由紀、会田小百合、ラープ スマリー・ステファニー

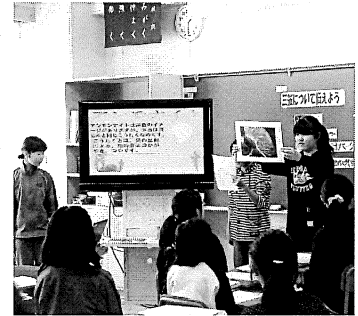
【単元名】体の名前を言ってみよう



○地域科(6年)

【授業者】平田真生子

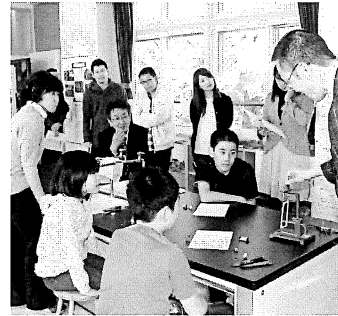
【単元名】三笠について伝えよう



○理科(5年 交換授業)

【授業者】畑山由美子、加藤節夫

【単元名】電流が生み出す力



全体会 30分

①開会の言葉

②振興会会長挨拶 兼 主催校挨拶

③祝辞

三笠市教育長様

三笠市教育研究所所長 様

④研究発表

⑤質疑

⑥閉会の言葉

研究協議 35分

①挨拶(司会者)

②研究概要の発表(司会者)

③授業者反省

④質問・意見・討

議

⑤助言者から

⑥まとめ・終わ

りの挨拶(司会

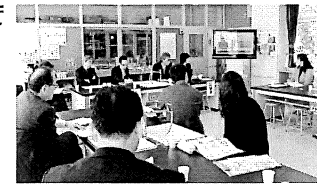
者)

公開研究会を終えて

多くの参加者にご参加いただき、各研究協議やアンケートなどにおいて貴重なご意見を多くいただきました。

研究協議の討議記録やアンケートに記載していただいた事項は、岡山・萱野全教職員に選流し今後、成果や課題をまとめいきます。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

例年より積雪が遅いと思っていいたら、一夜にして真っ白な世界。今年の冬はどうなるのか気になるところです。

今号の「教育三笠」では、今年度の「岡山・萱野小中一貫教育」の取り組みの様子と「研究指定校 公開研究会」の様子が中心に掲載しました。担当の方々には、お忙しいなか原稿をお寄せいただきました。ありがとうございます。

次号は、「研究所の研究課題報告」を中心に伝える予定です。引き続き教育研究所へのご協力をお願いいたします。



三笠市教育研究所報
発行日 平成27年12月16日
発行所 三笠市教育研究所
代表 松井 牧子
三笠市若草町404番
電話2・2197番
印刷所 中央印刷株式会社